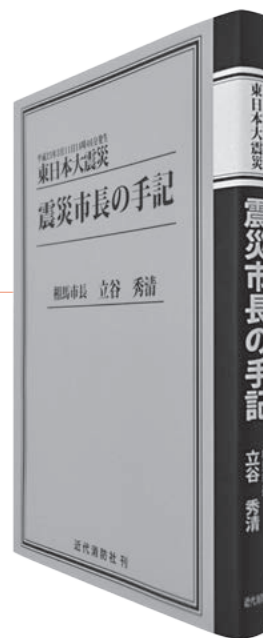


平成23年3月11日14時46分発生
東日本大震災 震災市長の手記

相馬市長 立谷 秀清 著
近代消防社 定価2,000円(本体)



あれからもう6年余り。

あの日のことは、つい昨日のような気もするし、遠い昔の記憶のようでもあります。

われわれが経験した災害の多様さは古くからの災害史の中でも類を見ないものでした。地震、津波被害に加えてその後の原発事故。それは災害規模の大きさばかりではなく、困難が複雑に入り組む大規模複合災害とも称すべき事態であり、相馬市始まって以来の最大のピンチでした。

極限まで考え抜いて試行錯誤を繰り返しながら、住民の健康維持・管理と生活再建のために相馬市チームが精魂を込めたこの6年間でした。

復興を成し遂げながらやらなければならない、もう一つの大切な仕事があります。それは、この大震災と向き合ってきた今を生きるわれわれ相馬市が、地方政府として、この歴史的な郷土の危機をどのように受け止め、どのように対応したかを後世に伝承する義務です。

未曾有の大災害に翻弄^{ほんろう}された一人の地方首長の記録として、この本が、未来の相馬市民のみならず、南海トラフ地震をはじめとする今後の災害対策や危機管理のお役に立つことができれば幸甚です。

